発行日　令和８年２月 16 日

北数教高校部会だより

北数教高校部会事務局
北海道札幌西高等学校
〒064-0954 札幌市中央区
宮の森４条８丁目１
TEL. 011-611-4401

今回は１月末に行われた「数学教育実践研究会」の活動をお知らせします。研究会当日は札幌市内大雪の影響もあり、レポート発表が叶わず紹介のみになってしまったものもありましたが、オンライン開催であったこともあり（オンライン開催だったからこそ）大幅な変更はなく、多くの参加がありました。

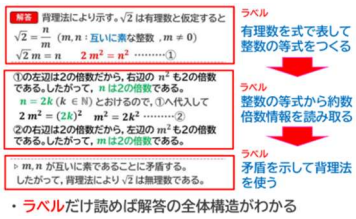
■「第 136 回数学教育実践研究会」
（日時）令和８年１月 31 日（土）
【講演】教科書と大学受験をつなげる
振り返りを活かす学習と指導
講師：佐々木　隆宏　様
（東京家政大学児童学部初等教育学科教授）

(1) 問題解決において行う意思決定に資する方略の抽出と適用環境のパッケージ

結果主義、暗記主義、物量主義的な学習観による学習方法は認知的負担が大きいだけでなく学習したことを他の文脈でも試みる（転移）が起こりにくいことを指摘されました。この「転移」の成立を目的とした「方略抽出と適用環境のパッケージ」について具体的な作成と運用の仕方について説明していただきました。

(2) 数学解答のパラグラフ分割と解答の構造化

予備校講師をされていたとき、模試の解答解説を読みこなせていない生徒が多くいたことに気づき、解答解説をどのように読むかという指導をするために考案した「解答のパラグラフ分割」とラベルつけによる「解答の構造化」を紹介していただきました。



・ラベルだけ読めば解答の全体構造がわかる

(3)「統計的な推測」の指導のあれこれ

事前アンケート結果をもとに、「指導方法の図式化」「ストーリー性を取り入れた指導」「マイルストーン（中間目標地点）の設定」などの方法を紹介していただきました。また、共通テストに向けては近年頻出の流れである

・問題文から数学的な条件を抽出する
・日常文脈から数学文脈への変換

の早期からの練習として、この章はとてもいい教材であると伺いました。

紙面の都合上、かいつまんだ紹介になりましたが、参加された先生方にとって日頃の指導に役立つような内容でした。

【レポート発表】

今回は（紹介のみも含めて）13 本 9 名の発表がありました。現場での実践から、教材研究、AI 活用、趣味の数学まで、数実研らしい多様な内容でした。

また、今回初めての試みでしたが、当日参加できない先生が事前収録をし、それを当日流す発表もありました。回線や端末によっては、満足いただけるようなものにはならなかったかもしれませんが、新たなレポート発表の形でした。

・シミュレーションの数理
数実研会員　松　本　睦　郎
・明後日の授業をどうする？この後の懇親会でツマミになるハナシ２
・「AI と創る数学的リテラシーを育む個別最適な学びと協働的な学びの授業実践群」を提案する Moon Shot!!
旭川東高校　小　川　尚　也
・数学クイズの実践
新篠津高等養護学校 坂　井　健太朗
・特殊化で教材作り
・見事で面白い論法
・数学で遊ぶと教材に
数実研会員　安　田　富久一
・フィボナッチ数列
・よくある疑問について
札幌東高校　前　田　勝　利
・3 人の数学教師が 3 ヶ月後にマジックショーに挑戦した理由
旭川北高校　岡　崎　知　之
・実力テストで One more thing 4
室蘭栄高校　長　尾　良　平
・正方形内の四分円、半円など 3 個の円弧に接する円の半径について
数実研会員　時　岡　郁　夫
・三角関数関連あれこれ(2)
数実研会員　村　田　洋　一

第 137 回（対面開催）
日時　令和８年６月１３日(土)　※予　　定
場所　北海道大学構内　　※詳細後日
講師　北海道大学大学院理学研究院数学部門
教授　眞　崎　　聡　　様
演題　（未定）

今年度も数実研に多数ご参加いただき誠にありがとうございました！次年度も何卒よろしくお願いします！